

パブリックコメント等一覧

	番号	意見内容	備考	
市議会会派 説明会 (4/4)	A 1	進行管理について基本構想でも記述すべき。	基本構想で対応	
	2	人口減少は大きなテーマであるので、まちづくりの課題で取り上げてはどうか。	基本構想で対応	
	3	将来都市像には、10年計画とはいえ、10年より先におわせるものであって欲しい。「持続可能」、「循環型」という言葉を入れてはどうか。	基本構想で対応	
	4	行政計画として書かれている計画例の上下関係がわかりにくい。	基本構想で対応	
庁内意見 (4/7)	B 1	「第1 まちづくりの歩み」と「第2 地域資源」において、文章の重複が目立つので、変えるべき。	基本構想で対応	
	C 1	「市民力」のところでも市民力についての説明がない。	基本構想で対応	
	D 1	地域資源の項目名のバランスが悪い。	基本構想で対応	
	E 1	既にIT推進計画に続くe-八戸推進計画ができていますので、記述すべき。	基本構想で対応	
公開討論会 (4/13)	F 1	八戸藩から一気に昭和4年の記述になっているが、その間の近代明治大正の60年が抜けている。八戸町他、周辺の町村が形成され、鮫の築港、鉄道八戸線の開通、八戸大火の復興も加わり、4町合併の大同団結から産業都市を志向した八戸市が誕生したことを数行で記述したらどうか。昭和の大合併のそれぞれの年代を注意すべき。	基本構想で対応	
		2	商業の記述が必要。藩政期以来の八戸の商業の中心地が現在に至ってあまり変わらず八戸の街の顔として続いていることも記述したらどうか。	基本構想で対応
		3	根城史跡の記述も入れてはどうか。	基本構想で対応
		4	教育のまちづくりの観点から、明治26年の県立第二中学(現八高)が県南の教育拠点だったことから、昭和38年の国立高専の誘致、八工大、八戸大という私立大学や私立高校が多く存在し人を育てたことを記述したらどうか。	基本構想で対応
	G 1	将来都市像について。「北の中核都市」の「北」とはどこを指す概念か。また、「中核都市」とは「中核市」と別だと思うが、どのようにして八戸が中核都市となるのか。合併問題も含めその辺がどのように議論されたのか。	基本構想で対応	
		2	基本構想は10年間で計画期間ということであるが、実現のための進行管理システムを明示すべきではないか	基本構想で対応
	H 1	計画策定に携わった委員や市民が、策定後も見届けられるよう、進行管理に市民が参画できる仕組みが必要。		
	I 1	2009年作戦 「八戸市制施行80年開港70年」というこの歴史的な節目を生かし、2009年(H21)に各種イベントの実施や、誘致、誘客を強力に推し進めることを提言する。 11回目の「冬季国体」の誘致、「環境・海洋博覧会」のような一大イベント、新幹線八戸開通と南郷との合併による「新八戸市のPR」、環境を守る、新エネルギーづくりには力をいれて環境立市宣言も行っていることから、新産業と雇用の創出の観点からも「海洋都市・八戸」のPRと振興、2009年の1年後の2010年(H22)は県民待望の東北新幹線は県都青森市まで開通することが見込まれる年だけに、八戸、青森側がお互いに連携をとりながら、この歴史的意義を共有し全体的に盛り上げる。	総合計画への位置づけはなじまない ので、今後の市政 運営の参考意見と して承る。	

公開討論会 (4/13)		2	江戸時代から三百数十年に亘る歴史があり、特に三日町、六日町、八日町、十一日町、十三日町、十六日町、十八日町など、市日による地名がまとまってのこされている、全国でも珍しい中心街で、八戸えんぶりや三者大祭などの観光の花道でもあり、その重点的整備が求められている。現在のところ十三日町、三日町、八日町のメインストリートはキャブ事業できれいに整備されていたが、裏通りの六日町側は未整備。	
	J	1	計画は計画として、誰が実行するかが重要であり、行政と各種団体、各種団体同士の連携が必要。	
		2	市民活動団体の活動をコーディネートしてくれるところがどこかに必要なのではないか。	
	K	1	八戸は子ども会の活動が盛んである。学童保育と子ども会活動を組み合わせた子育て支援。子どもの安全のための仕組みづくりを提案したい。そこに大学生である我々が積極的に関与したい。世代間交流を実現し、子どもたちの健全育成に資する。	
	L	1	八戸は子ども会の活動が盛んである。学童保育と子ども会活動を組み合わせた子育て支援。子どもの安全のための仕組みづくりを提案したい。そこに大学生である我々が積極的に関与したい。世代間交流を実現し、子どもたちの健全育成に資する。	
	M	1	不登校・ひきこもり・ニートの社会参加支援の必要性と、それを実現するための市民団体・行政・事業者の役割の明確化と連携に関する施策について検討していただきたい。	
	N	1	計画の内容は立派であるが、誰がどのようにして実践するか疑問である。県庁の職員は意識化改革が進んでいるが、市の職員は消極的な印象である。	
		2	蕪島の海水浴場の水質改善について具体的な策がある。実現には市の協力が不可欠であり、連携しながら進めていきたい。	総合計画への位置づけはなじまない ので、今後の市政運営の参考意見として承る。
		3	市民団体間の連携の仕組みづくりが重要である。無償奉仕だけでは継続的な活動に無理があるため支援を充実してほしい。県の方は市民団体に対する対応が丁寧である。市民団体間の連携について今の「わいぐ」の体制では十分でない。	
	O	1	南部には南部の良さがあると思うが、これまで結果を出せていないのが実情。地域のパワーの源泉となるものをどう引き出していくかが重要。これまで整備した施設をみても中途半場なものが多い。インドアリンクも数十年前に提案したときは市の対応は冷めていた。当時実現すれば素晴らしいものになったはず。	
P	1	歩行禁煙条例制定について提案する。 理由：路上において、①非喫煙者に害になる煙を吸わせている。②子ども達の頭や顔の高さで危険な火を持ち歩いている。③火の不始末で、多くの火災発生の原因になっている。④ポイ捨て禁止条例を無視か無知のため、道路には吸い殻が散乱している所が多い。(歩こう会で、毎週日曜日市内を歩いている)⑤子供達の目につく道路での喫煙は、学校や家庭での禁煙指導に水を差すようなものであり、将来大人はたばこを吸うものだという潜在観念を植え付ける環境となっている。⑥健康宣言都市らしいきれいな空気の街づくりが必要。	総合計画への位置づけはなじまない ので、今後の市政運営の参考意見として承る。	

パブリックコメント(3/9～4/14現在)	Q 1	<p>総合計画の基本原案には「一次予防を重視した健康づくり活動」とあるが、平成15年の「健康都市宣言」を前進させて、次のような内容の「タバコの害のない健康都市はちのへ」を提案する。</p> <p>1) 路上喫煙禁止条例を制定する(※千代田区、札幌市ほか多数の自治体)</p> <p>2) 未成年の主要な購入手段となっている違法状態の屋外タバコ自動販売機を撤去させ、完全対面販売をめざす(※深浦町、WHOタバコ規制枠組み条約)</p> <p>3) すべての小中学校において年齢に応じた継続的な喫煙防止教育を行う</p> <p>4) 飲食店を含む公共的なスペースにおける受動喫煙をなくす</p> <p>5) 葉タバコ農家には、人々の健康を害する作物から健康を育む作物づくりへの転作補助を行う</p> <p>6) すべての市民に、健診や広報、地域活動などを通じて喫煙や受動喫煙の害への理解を深め、禁煙への支援を行う</p> <p>7) 条例の制定や無煙社会(子どもたちがタバコの広告、販売、喫煙している姿を目にすることなく、受動喫煙の害もない社会)の実現のために、市民みずからが主体的に参画し行動していく。</p>	総合計画への位置づけはなじまないため、今後の市政運営の参考意見として承る。
	R 1	<p>1 不登校について</p> <p>義務教育課程在籍中あるいは高校在籍中、卒業後の進路においても多様な受け皿があって、登校できなくなっても家にいがちな状態にならない様にならなくてはならないと考えます。卒業後なども同様と考えております。</p> <p>2 ひきこもりについて</p> <p>(1) 地域からの偏見の問題(ひきこもりは誰でもなり得る状態であること)</p> <p>(2) 社会の受け皿を創出する必要性(就学・就労ではなく、中間的な位置付けで当事者達が対人関係を築ける場)</p> <p>(3) 既存の社会資源と制度の利用する可能性の検討</p> <p>3 ニート対策</p> <p>(1) 就労体験の機会</p> <p>(2) 就労を受け入れる事業所への助成措置の検討</p> <p>(3) 既存の社会資源と制度の利用する可能性の検討</p>	
	S 1	<p>商工開館の一階の空スペース部分を活用し「わいぐ」や、小生提案の2009イベント実行委員会の拠点に活用してはどうか。家賃は会議所の話し合いで利用しやすいように決める。また、観光コンベンション協会も近くボランティアのいるスペースも確保し、皆で目標に向かって頑張る。</p>	総合計画への位置づけはなじまないため、今後の市政運営の参考意見として承る。
	T 1	<p>計画に出ている「子育て支援」は経済的に大人に対してする支援であり、「子ども自らが育っていく」という視点が欲しい。また、国では「子どもの権利条約」を批准しているが、県や市でも同様の条例等策定し、子ども自身にも、自分に権利があるということを知らせてはどうか。不登校児の居場所作りとして、学校以外の場所(公民館等)を活用して憩いの場的なフリースペースがあれば、異年齢の交流、コミュニティの形成も可能となり、子どもが、自分自身を癒す場所として利用できるのではないかと。</p>	
グループインタビュー(3/27～4/14現在)	U 1	<p>(A) 地域活力の創造のために、各種イベントの実施、誘致、誘客の推進を提案する。</p> <p>① 冬季国体の誘致</p> <p>② 2009年の市制施行80年にかかるイベント、環境海洋博覧会の開催(身の丈にあったもので、かつ八戸市の魅力を全国に伝えることができるもの)</p> <p>③ 2010年の東北新幹線青森開業にかかる青森市との連携について</p> <p>(B) まちの魅力創造のために、修学旅行生の受け入れ体制の充実を提案する。</p> <p>八戸市には、是川縄文博物館などの施設建設の予定や、誇れる先人が存在するので、これを活かした修学旅行の受付検討</p>	

グループインタビュー (3/27～ 4/14現在)	V	1	沿岸漁業者による活魚販売への支援として、施設、流通体制の整備をしていくことが、漁業の振興だけではなく、観光や地域活性化にも繋がっていくのではないかと。また、「海洋立市」と謳っているのだから、遊漁船等、マリレジャーの振興による地域の活性化を図ってはどうか。	
	W	1	<ul style="list-style-type: none"> 種差海岸への雨天時の観光客対応のため、また、観光客や市民への情報発信、子どもへの観光教育の場となるような拠点（ビジターセンター）や観光客の受入体制の整備（食堂や身障者用のトイレなど）が必要。 遊歩道の維持管理について、草刈り、ぬかるみ、階段の崩れているところなど、すぐに直せる体制づくりが必要。 ワンコインバスをプレイピア白浜の敷地まで乗り入れたり、鮫駅発着ではなく八戸駅発着にできないか。また、手をあげたところで乗れるようにできないか。 行政とボランティアがどういう関係であるべきか市からの意見をいただきたい。 ボランティアガイドの人数を増やしたり、会報の作成などについて、市の支援制度等を検討していただきたい。 観光課とボランティアガイドが直接連絡を取り合えるような体制の構築が必要。 	
	X	1	<ul style="list-style-type: none"> 市が所有する施設（長根運動公園）や遊休地（市民病院跡地など）、特に中心市街地及び周辺の施設について、市民が集まり賑わいの創出となるような民間イベントなどに開放してほしい。中心市街地に賑わいを創出したい。（長根運動公園で夕暮れ市を開催したい。） 市役所に、例えばイベントの開催のための施設利用について相談をする際などに、どこに相談してよいのか分からないため、事前に話を持っていく窓口を設置してほしい。 行政もいろいろ取り組んでいるようであるが、もっと広く情報提供をしていただきたい。 	
	Y	1	<ul style="list-style-type: none"> 部活動の指導について、民間からの派遣を検討するべきではないか。 教育、福祉施設への指定管理者制度の導入について、市民に対してもっと丁寧な説明が必要ではないか。 個々のなかよしクラブ、児童館の開館時間、条件、料金などの情報について、市から情報提供してほしい。また、その上で、学区自由性を導入してはどうか。 学校の空き教室を利用してなかよしクラブをやってもらえないか。 教師の指導力によって学校間に格差が生じているのではないかと。是正する取り組みを考えて欲しい。 八戸市には文化的施設が少ない。先人記念館のようなものがあるのもいいのではないかと。児童館も狭いし、大人も利用できるような施設なら人が集まるのではないかと。 悪徳商法から消費者を保護する策として、短期間で店舗を貸すのを制限できないかと。 	